

小治

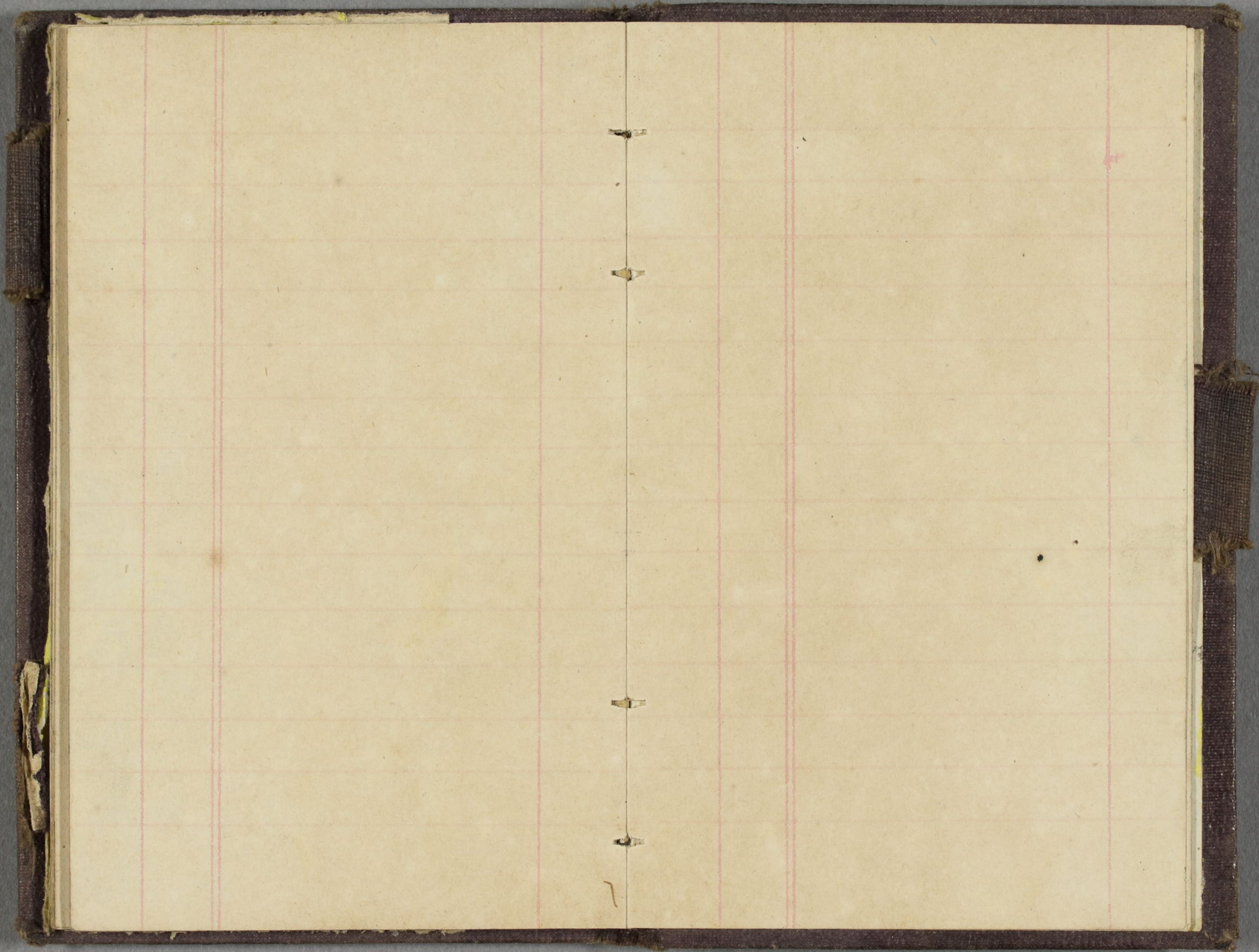
早稲田大学図書館

文書 27

B 16







明治三春三月七日

我 家居 報日 愛國

市世設林早廿八日九着

三月十日着

三多身北乃乃

七利恭助 四月廿五

光念身

及召出 廿月廿五

大久保

水久保

三月廿七日 英國公使啟商

三月廿九日

外國友十七日未見出

行於支所院

五月初日

六官分科

四

土州公板垣

後史八

諸後律

後藤

中審

十音

十五日

郡精

函致平

朝相

山下

古

實明者保朝

後史

十六日

西紳箱破

接及定住株

廿五箱相做 敷北 缺定報

廿二日、諸侯五名内、皇道推開、蝦夷襲開、西

通衣海、成

廿五日、迄、庚、廿五日

○菊鹿致事、假

四月廿九日、矢不來、戰勝

五月

四月廿六日、廿七日、九海上、綱切

七日、甲鉄、春日、朝陽、内、港、堤

十日、昌川、海軍

十日、海陸、西道、攻、殺、奪

播、説、共、燒

昂、死、熱、計、五、十、四、人

回、天

助、命、四、十、三、人

朝、陽、及、破、裂

千、代、田、集、捕

十日、休、兵、海、陸、降、伏

浦、島、三、島、助

十六日、榎、本、降、伏

中、島、三、島、助

以、大、子、討、死

轉等河三所自
都三車西地所

官島武大八樓

以此作民

云云云云云

六月十日
全

府藩縣知以送

七月九日
上核武部大輔

古史一
代史人

七月

八日大久保木六郎板屋与世美兵衛物入

十七日山名念不集廿二日印

二十日木林寺供大判ヨシ

二十二日大久保廣海ヨシ

午

三十三日

某事は所延月
〜分下

庄三
如溪
杉山

三
庄田
小川
老
老

杉
老
老

九月二年

三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十

九日 黒田来訪、自名石下り片入

十日 湯野川早追出立

十一日 大久保参議談大権参事之義、此夜

十二日 小川同道、本林寺同断、十日到廊

相成、後別川、西割渡

議院 廢釈、議ヲ破心

黒田不在、醉月酌

十九日同西野下村間 三生飲

廿日約 夜片山森小川 況方小川 龍志 相成 飲豚店

廿一日雨 日山川 松本飲 又川菊飲

廿二日 晚方大瀧秀丸飲

廿三日 海老原 秋山 瀨下 到着

廿四日 毛利 不平 七利 校

廿六日 土洲 訪 面會 今 後藤同道

出帆 千石 木戸 千八百

英成 松解 勝 以 陽

如七 刑法 友 和 佐 之 所

大久保 新 豐 花

大 久 保 新 豐 花

主 上 集 院 行 年

謹 慎 御 免

北九

三

十月六日 三條宮 謁ス

乃身之... 勤工...
 向... 朝...
 其... 歸國...
 何... 家...
 心... 入...

東久也卿

廿号 廿号着

口頃大主典

着

降路

丸山仙樂北地庭橋不出來

越前守伊藤左内入
右衛門 左利 右中
右衛門 右中
右衛門

上之井左書人

北極

矢口 昇舟

山口 軍左

山口 右左衛門

後北條 隆景

西 直八郎

高橋 (印在側)

銀

一丁目

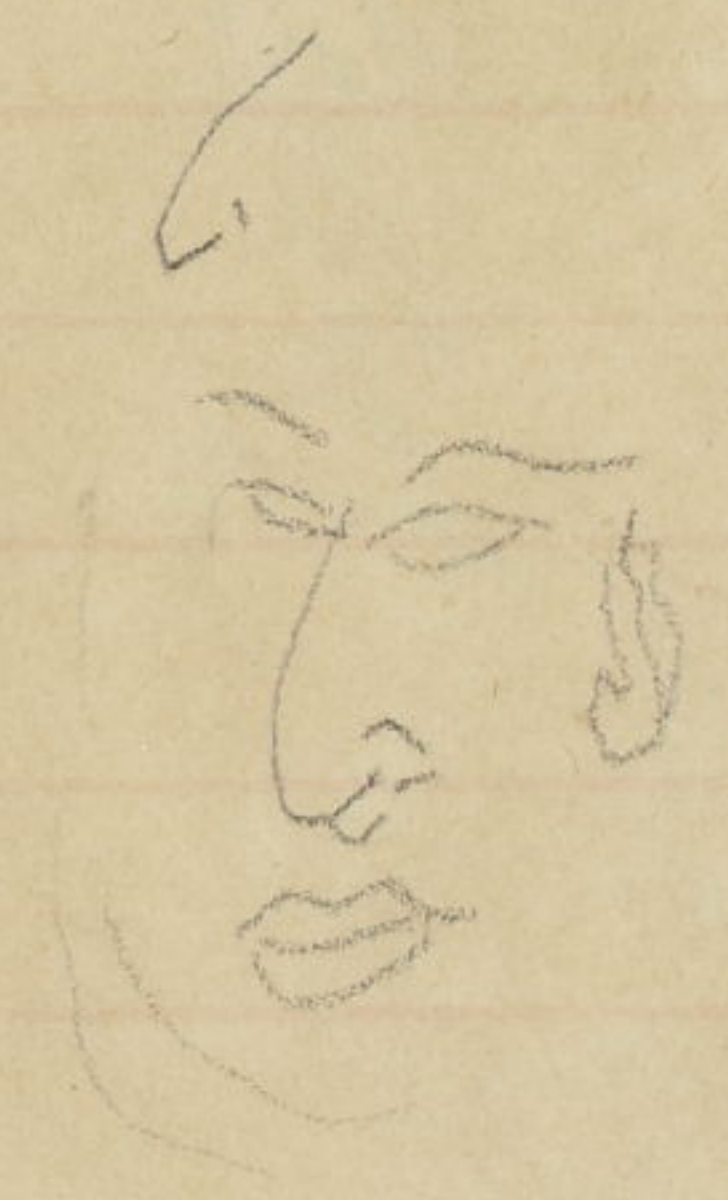
細尾 龍左衛門 常吉

田

鏡

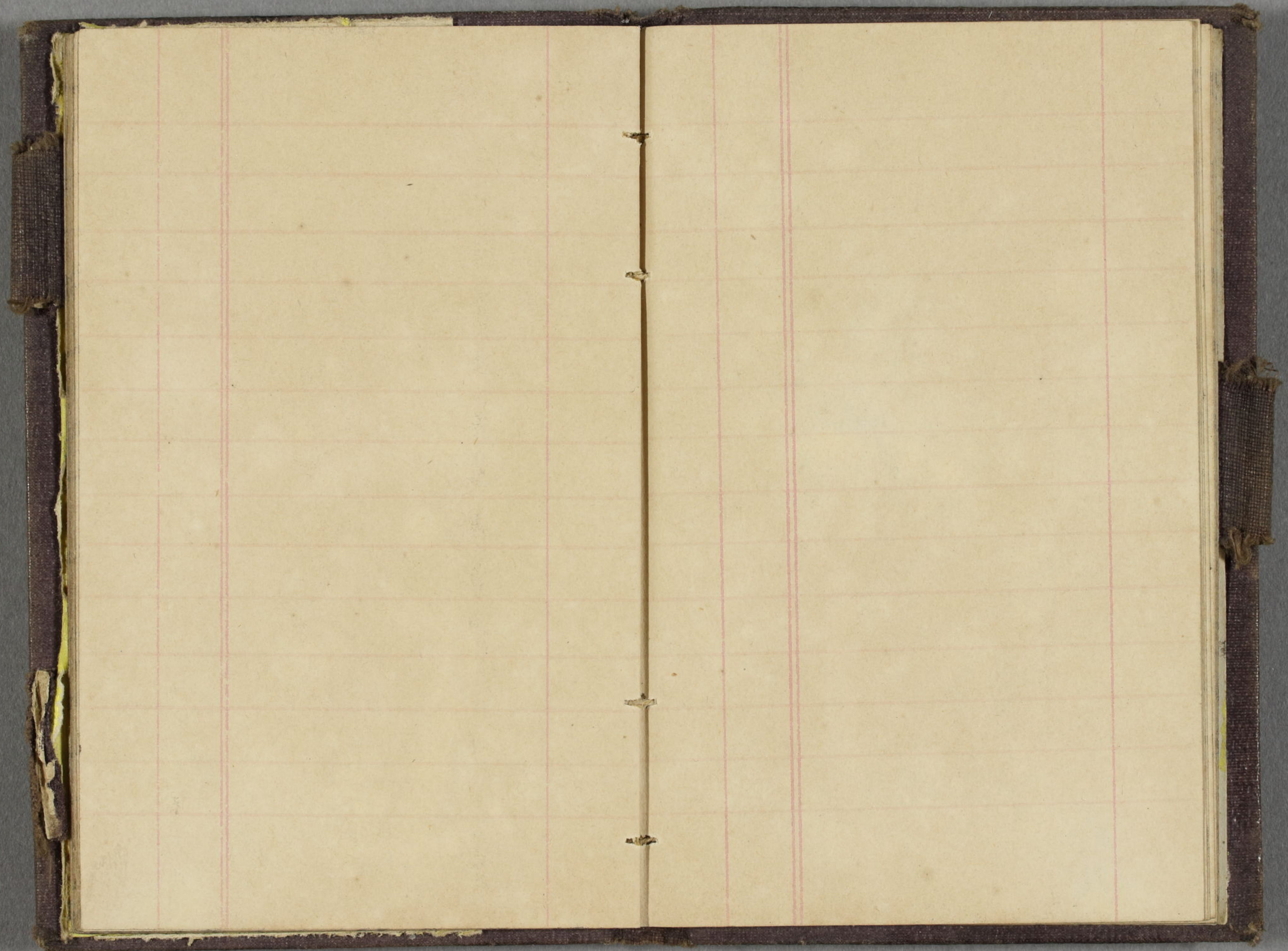
去月 十月

本字
司馬凌海
石井通玄
杜同海
伊藤乃成



後藤曰く土佐の藩士は薩
長と神戶の藩士とを
討つて其の理を明し
力なきは其の志を
入

大八



六地標記

廿月

三〇 民衆各付符造

十一 子 上 蝦 毒 中 國 能

十一 子 校 垣 中 流

十一 四 〇 岁 危 危 的 亂 局 層

十一 考 三 本 殿 人 九 談 行 爲 各 百 萬

十一 考 〇 八 林 才 數 以

十一 考 〇 〇 民 衆 人 造 白

十一 考 〇 〇 南 海 名 以 陸

十一 考 〇 〇 白 海 〇 志 漢

十一 考 〇 〇 伊 友 友 中 內 流 〇 〇 地 標 記 類 類

民 衆 友 友 類 類

三子

正日

〇二十兩 廿月 魁

〇二十兩 廿月 魁

〇二十兩 廿月 魁

〇四十五兩 月 官 祿

〇十八兩 廿月 魁

〇八兩 廿月 魁

〇百三十六兩

〇百三十六兩

〇五十四兩 〇百三十六兩 〇百三十六兩

〇三子 〇三子 〇三子

再中

成受

三子

二分 七分 七分

三子

三分 三分 三分

三子

三子

午分毛所之陽原上印透飲

新
十三原印印行

其下天長寺南結尾及好法也

其下少云之南少云(西)北上飲其車指

其下少云之南少云(西)北上飲其車指
次其之柳川

廿五。山岩倉神

其下

Handwritten Japanese text on the left page, written vertically in cursive style. The text is organized into several columns, with some characters appearing to be part of a larger, possibly illegible, script or a specific dialect. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten Japanese text on the right page, continuing the vertical writing style. The text is dense and appears to be a continuation of the notes or a separate entry. On the far right edge of the page, there are two small, vertically aligned characters that appear to be '12' and '1', possibly indicating a page or section number.

南庄物所

桂芳高晋安

正月廿

七小自印製

一平岩 神

六平山 安

四平川 上 友 八

五月 送 角

六月 一 杯 期 滿

樂 德 心 孝

10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

東 西 南 北

10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

二月
南
澄音
女
豐喜

田只

十百
新

廿五

廿四

廿七

廿二

田
廿五
廿四

田
正
梅
井

田
田

靜

音

十百
歌

十百

十百

十百

田
盤

七
辰

十
會

十
日

十
三

十
五

十
四

十
五

十
六

十
七

十
八

十
九

十
十

十百
廿三

十百
廿七

十
九

十
二

十
六

十
一

十
甲

十
六

十
四

十
待

十
五

西京洛東山妓

愛吉阿孝山菊小軍阿岸阿可ヨ少烈阿及

阿花阿成菊江山花阿友川久阿鶴阿季

少德山ナリ小ナリ也ナリ方ナリ出ナリ小

三本木

玉松小玉菊松家游玉岸梅鶴縫和

秋意 近以也

玉鶴 々鶴 々代菊 阿色 玉光

花江 玉也 美也 見季 少歌 少吉

良毛 送好 名 光

代 持光 阿安 阿多 阿江 阿川 阿物 阿石 阿毛

阿得 山 阿春 阿新 阿和 阿美 阿代 八重

北新地 阿維 阿能 阿新 阿阿 阿阿 阿阿 阿阿

阿阿 阿阿 玉秋 阿阿 阿阿 阿阿 阿阿 阿阿

喜阿 阿阿 阿阿 阿阿 阿阿 阿阿 阿阿 阿阿

伏見 先利橋より南側 甚だ所

天下の事々々々々々

大坂 道の原日本橋 甚だ所

唐屋のりりりりりり

大坂屋

南島川 白鳥三斗

老翁阿菊 島山亭 阿澄 阿次

親中

豊今

北河大 阿夏 花か のお花

深川

久花 刺糸 鮎江 山 雲井 若菜

園田包

三洲庵

白三菊 桑 半井方 茶

お遊弓 二千 おこいおふ 伊勢方代

甲型 なり なる 小玉 なり おたま 伊勢方代

伊勢方代 なり 長門也 伊勢方代

伊勢方代 なり 中尾也 伊勢方代

平泉 なり 信善 なり 伊勢方代

荒縁 なり 山吹 なり 曲 なり 伊勢方代

三 なり 大尾 なり 伊勢方代

大金 なり 伊勢方代

尾 なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代

お なり 伊勢方代



